

私は道南の八雲町で生まれ、幼少時代を札幌、小学校から大学まで江別市で過ごしました。大学卒業とともに住鉱コンサルタント東京本社へ就職し、主に国内の鉱床探査や地熱調査に携わりました。5年後には札幌支店へ転勤となり、それから20年近く土质地質の調査等を担当しております。

大学では三陸のマンガン鉱床を卒論のテーマとしましたが、研究はさておきピンク色の鉱石：バラ輝石を採取するのに夢中で叱責されました。琥珀も採取できて、やはり、叱責されました。遊び心は必要と思うのですが、遊びだけになっていたようです。

就職してから全国各地へ出張し、海外へも行く機会がありました。特に習慣や文化の異なる海外では、我々の常識が通用しないことは理解しているつもりでも、目の当たりに実感することができたことは私にとって大きな経験になっていると思います。最近、紋別にある鴻之舞鉱山に仕事で行く機会があり、金の産出量が国内第3位の鉱山で最盛期には1万人以上が住んでいたそうです。しかし、今は人家もなく、一時期を築いたその活況さは既に夏草に埋もれかけているようでした。

平成22年10月に住鉱コンサルタントの建コン部門の実績・社員を引き継いで誕生した地圏総合コンサルタントへ移籍となり、少なからず業界の再編を経験いたしました。業界を取り巻く厳しい環境が続きますが、技術者として夏草に埋もれないよう、自分の常識が世の中の常識であるか疑いつつ、そして少しばかりの遊び心を持って今後も業務に取り組んでいきたいと思っております。

竹花 大介 (たけはな だいすけ)

● 総監・応用理学部門(地質)
建設部門(土質及び基礎)

勤務先

株式会社 地圏総合コンサルタント
札幌支店



→ 次号は、長瀬真央さん(建設・応用理学部門)

私は札幌市で生まれ、小・中・高と過ごして大学で上京し、そのままコンサルタントへ就職して、約5年経過したところ札幌の支店へ戻りました。平成5年に技術士試験合格以来、旧北海道技術士センター時代から参加させていただいています。例えば青年技術士会で高校の同級生とばったり再開したり、その縁で同校卒業生、且つ技術士に限るというマニアックな会を発足し、「〇の陣」などと銘打って親睦を深めたり、平成12年に寿都町での技術士研修会に参加したのが縁で旧地域活性化分科会に入会し(現在はエンジョイサイエンス研究会へお世話になっています)、寿都町の皆様との交流に参加させていただくなど、いろいろなご縁をいただいて人生を過ごさせていただきました。

この紙面をお借りしまして交流のあった技術士の皆様には心より感謝申し上げます。

日々の仕事は、弊社は上下水道メインのコンサルタントですので、地下ライフラインの耐震性強化、長寿命化に注力しています。私が新入社員で設計した管路も道路陥没が急増するとされる経過年数30年を過ぎており今後老朽化が一気に進みます。そこで、(一社)管路診断コンサルタント協会の理事を仰せつかり、使命感持って計画的な管路施設の調査・診断の提案を行っています。現在は、生活の面では会社代表である都合上、東京に単身赴任形式で月20日ほど暮らす身ですが、何と云っても北の大地で元気をもらう男の一人として次世代の北海道に何か出来ることはないかと模索しており、その一環として札幌市への本店登記を検討中です。では、これまで同様に今後ともよろしく申し上げます。

小林 幸男 (こばやし ゆきお)

● 上下水道部門(下水道) /
総合技術監理部門

勤務先

株式会社 東洋コンサルタント
e-mail : kobayasi@toyocon.co.jp



→ 次号は、齊藤 彰さん(建設部門)